

ようこそ島根にお越しいただきました。心より歓迎申し上げます。

過去2回の「RubyWorld Conference」には、それぞれ1,000名を超える皆さんにご参加いただき、本日は、3回目の開催を迎えました。この「Conference」が定着しつつありますことを、大変嬉しく思います。

開催にあたり、経済産業省や情報処理推進機構をはじめ、ご支援いただきました多くの皆様に、厚くお礼を申し上げます。

さて、島根県では、県内企業の皆様と一緒に、Ruby エンジニアの育成や Ruby のビジネス利用の拡大に向けた取り組みを強力に進めております。

人材育成講座をはじめ、Ruby の特徴を活かしたビジネスモデルの創出や研究開発への支援など、今年度も様々な施策を展開しております。また昨年度からは、予算編成支援システムなど県の業務のために使われる14のシステムについて、Ruby を利用した開発を進めているところです。

こうした中、Ruby アソシエーションは、さらなる Ruby の普及、発展を目指し、本年7月に財団法人となり体制を強化されました。県では今年の6月補正予算で、この財団法人のスタートアップ支援の予算を追加しました。今後とも松江市とともに、Ruby の普及に向けた財団法人の活動を支援していく考えであり、Ruby アソシエーションの一層の発展を期待する次第であります。

本日から開催される「Conference」では、国内外で行われている技術開発やビジネス利用の最新動向など、様々な発表が行われます。この「Conference」が皆様に多くのヒントをもたらし、皆様の「RubyWorld」がさらに飛躍・発展することをお祈り申し上げます。

ところで、お出でいただきました島根は、「神々の国」であり、「神話の国」、「縁結びの国」であります。来年平成24年は、島根を舞台とした神話が数多く登場する日本最古の歴史書「古事記」が、編纂されてから1300年目を迎えます。また翌25年には、60年に一度の「出雲大社の大遷宮」が執り行われます。

県では、この機会に「島根の魅力」を多くの方々に知っていただくために、「神々の国しまね」のPR事業を進めています。

来月には、プレイベントとして「全国夜神楽フェスティバル」を松江城で開催します。そして、来年7月から11月までは、出雲大社周辺で「神話の博覧会」、「神話博しまね」を開催いたします。皆様には、今回あるいは次の機会に、島根の古き良き世界に足を運んでいただければ幸いです。

また、ここ松江では開府400年でいろいろな行事が行われております。この度の松江滞在を是非お楽しみいただきたいと思っております。

終わりに、今回の「Conference」を契機として、皆様がさらに「Ruby」を活かされ、ビジネスにおいても一層ご活躍されることを祈念し、ご挨拶といたします。